



2021年3月期 前半期決算説明会

 高島株式会社



1. 高島グループ 会社概要

- 1-1.会社概要
- 1-2.企業理念

2. 2021年3月期 前半期決算概況

- 2-1.連結業績
- 2-2.セグメント別概況

3. 2021年3月期 通期業績見通し及び配当予想

- 3-1.通期業績見通し
- 3-2.配当予想

4. 中期経営計画について

1. 高島グループ 会社概要

1-1. 会社概要



創業 1915年10月

本社所在地 東京都千代田区神田駿河台2-2 御茶ノ水杏雲ビル

資本金 38億127万円

上場開始 1949年（東京証券取引所）

発行済株式総数 4,546,173株 （単元株式数100株）

決算期日 3月31日

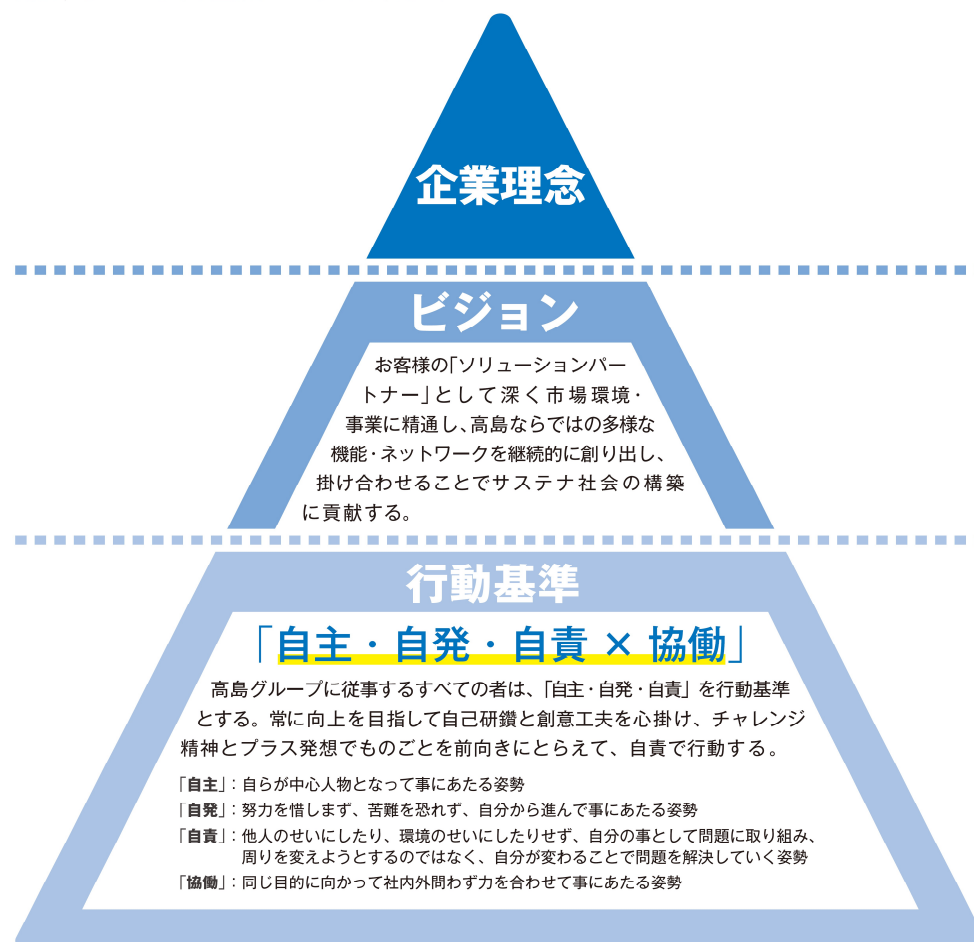
1-2. 企業理念



企業使命 「事業を通じて社会に貢献する」

経営姿勢 「誠実一筋」

高島グループは、オリジナルな発想を活かし、高島グループならではの方法で社会にアプローチし、積極的に世の中に役立っていききたい。そして、世の中に役立つことにより、その結果として高島グループも発展する・・・そんな企業グループでありたい。



高島グループのありたい姿として、新たに「ビジョン」を明確化

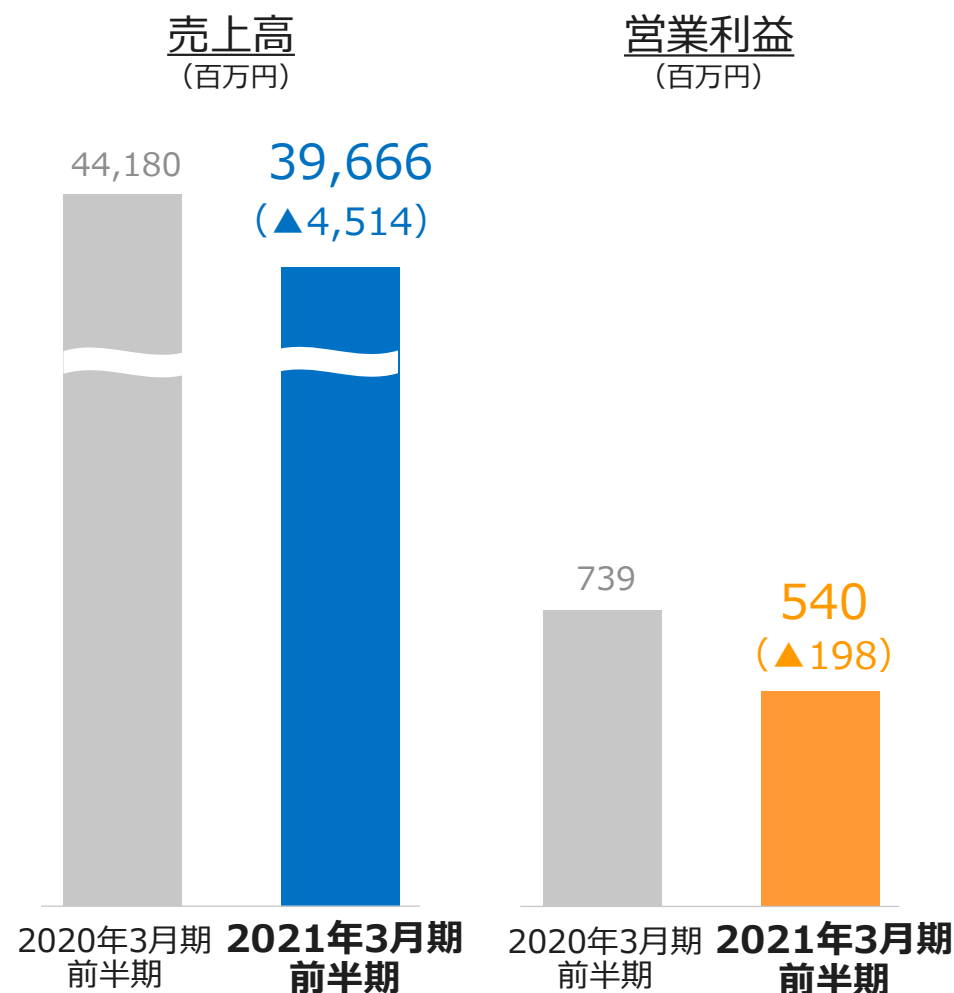
行動基準に「×協働」を追加

2. 2021年3月期 前半期決算概況

2-1. 連結業績_売上高・営業利益



新型コロナウイルス感染症の影響を受け、
売上高、営業利益ともに減収減益



売上高

39,666百万円
(前年同期比 89.8%)

営業利益

540百万円
(前年同期比 73.1%)

2-1. 連結業績_経常利益・四半期純利益



新型コロナウイルス感染症の影響を受け、
経常利益は減益も、四半期純利益は増益

経常利益
(百万円)

四半期純利益
(百万円)

経常利益

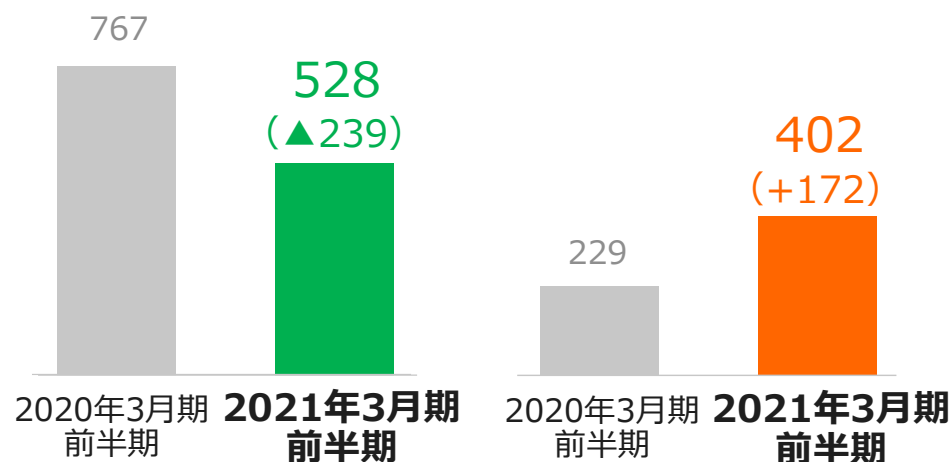
528百万円

(前年同期比 68.8%)

親会社株主に帰属する
四半期純利益

402百万円

(前年同期比 175.3%)



2-1. 連結業績_PL概況



売上高、営業利益、経常利益は減少するも、親会社に帰属する四半期純利益は増加
(前連結会計年度発生の特ダセル株式会社 火災事故の火災保険受領による特別利益計上)

(単位：百万円)

科目	2020年3月期 前半期	2021年3月期 前半期	増減額	前年同期比
売上高	44,180	39,666	▲4,514	89.8%
売上総利益	4,144	3,806	▲338	91.8%
販売費及び一般管理費	3,404	3,265	▲139	95.9%
営業利益	739	540	▲198	73.1%
営業外損益	28	▲12	▲40	—%
経常利益	767	528	▲239	68.8%
特別損益	▲274	114	+389	—%
税金等調整前 四半期純利益	492	642	+150	130.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	229	402	+172	175.3%

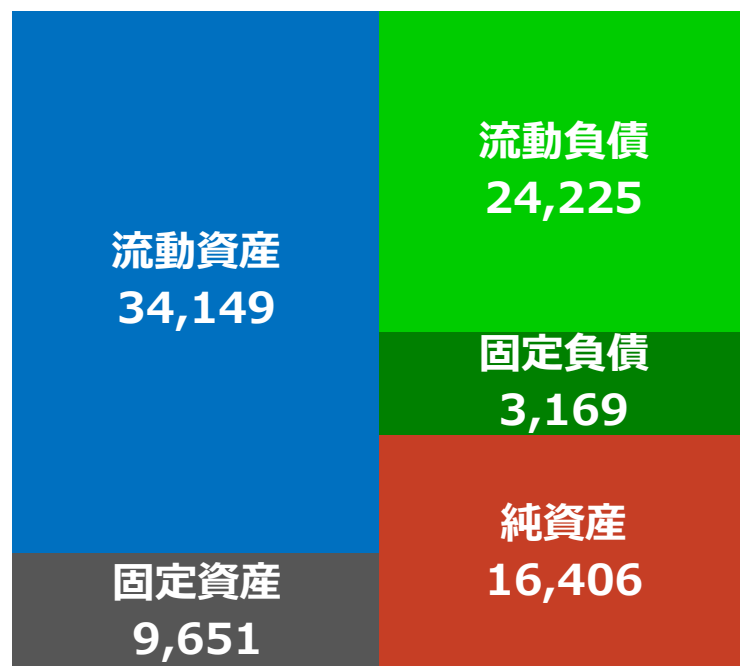
2-1. 連結業績_BS概況



売上高の減少に伴い債権債務が減少しており、流動資産及び流動負債も減少

前連結会計年度
(2020年3月31日)

総資産：43,800百万円
自己資本比率：37.5%



当第2四半期連結会計期間
(2020年9月30日)

総資産：41,870百万円
自己資本比率：39.2%

(単位：百万円)



2-1. 連結業績_CF



営業CFは、税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の減少によりプラス
 投資CFは、有形固定資産の取得によりマイナス
 財務CFは、配当支払・短期借入金の減少・長期借入金の減少によりマイナス

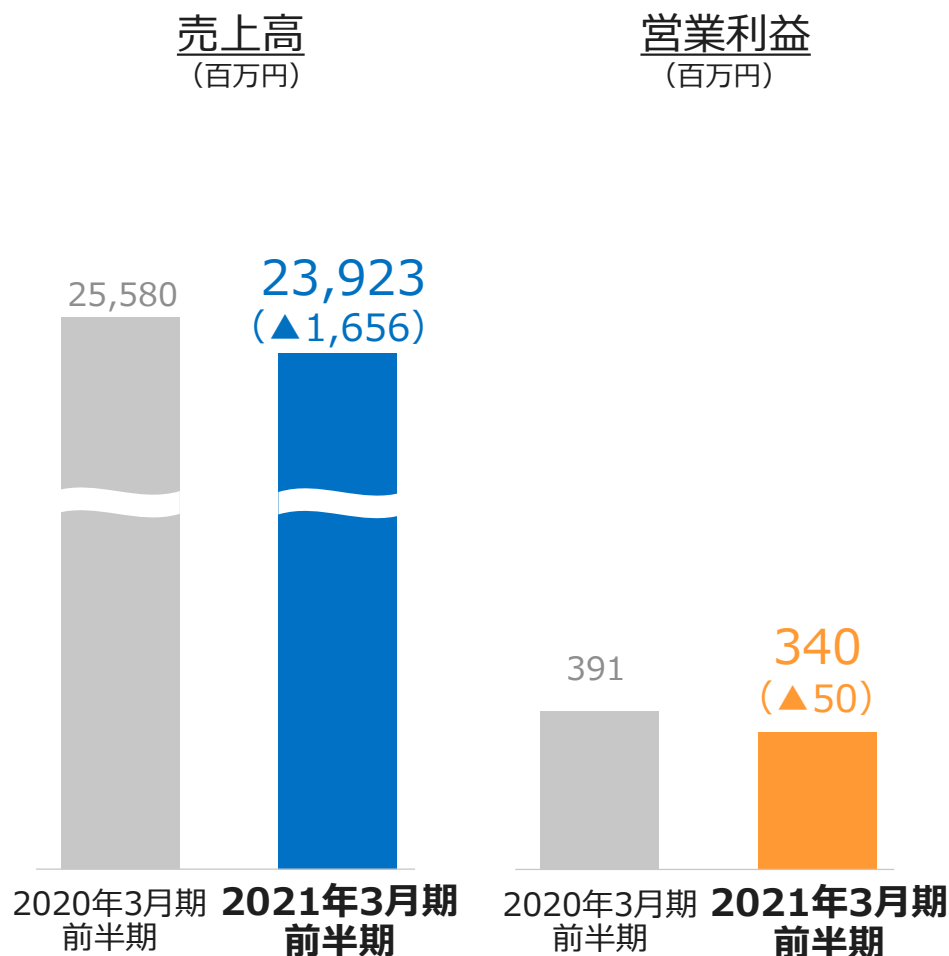
(単位：百万円)

科目	2020年3月期 前半期	2021年3月期 前半期	増減額
営業キャッシュフロー	790	1,501	+ 710
投資キャッシュフロー	▲ 188	▲ 829	▲ 640
財務キャッシュフロー	532	▲ 977	▲ 1,509
現金及び 現金同等物の残高	4,180	4,144	—

2-2.セグメント別概況_建材（売上高・営業利益）



新型コロナウイルス感染症の影響を受け、
売上高、営業利益ともに減収減益



売上高

23,923百万円
(前年同期比 93.5%)

営業利益

340百万円
(前年同期比 87.1%)

2-2.セグメント別概況_建材（分野別売上高）



建設資材分野 : 建設市場への感染症の影響は比較的軽微も減収
太陽エネルギー分野 : 太陽エネルギー市場が低調に推移し、減収

（単位：百万円）

分野	2020年3月期 前半期	2021年3月期 前半期	増減額	前年同期 比	要因
建設資材	19,283	18,732	▲550	97.1%	・建設市場への影響は軽微も 先行きは弱含みで推移と予測
太陽エネルギー	6,296	5,190	▲1,106	82.4%	・固定買取価格の引き下げに加え、 感染症の影響もあり低調に推移
合計	25,580	23,923	▲1,656	93.5%	・両分野ともに減収により、 セグメントとしても減収

2-2.セグメント別概況_産業資材（売上高・営業利益）



新型コロナウイルス感染症の影響を受け、
売上高、営業利益ともに減収減益

売上高
(百万円)

営業利益
(百万円)

売上高

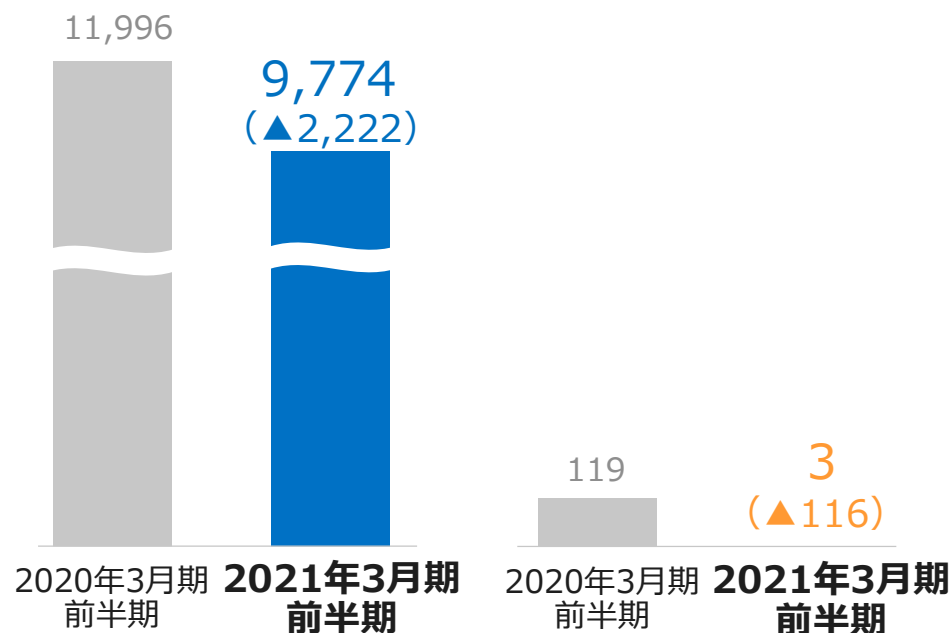
9,774百万円

(前年同期比 81.5%)

営業利益

3百万円

(前年同期比 3.1%)



2-2.セグメント別概況_産業資材（分野別売上高）



全分野において市場が低調に推移し、減収

（単位：百万円）

分野	2019年3月期 前半期	2020年3月期 前半期	増減額	前年同期 比	要因
樹脂	4,144	3,373	▲770	81.4%	・自動車関連市場、樹脂関連市場低迷により減少
機能資材	895	510	▲384	57.0%	・ビルメンテナンス、工業資材が減少
繊維	6,063	5,212	▲850	86.0%	・アパレル関連市場低迷により減少
車両部材	893	677	▲216	75.8%	・国内車両向け部材が減少
合計	11,996	9,774	▲2,222	81.5%	・全分野において市場が低調に推移

2-2.セグメント別概況_電子・デバイス（売上高・営業利益）



世界的な新型コロナウイルス感染症の影響を受け、
売上高、営業利益ともに減収減益

売上高
(百万円)

営業利益
(百万円)

売上高

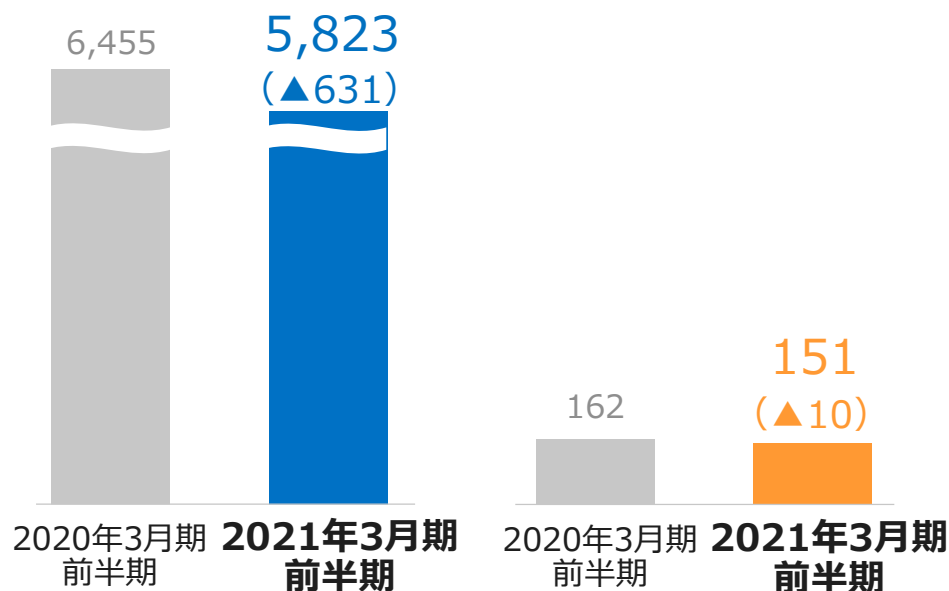
5,823百万円

(前年同期比 90.2%)

営業利益

151百万円

(前年同期比 93.6%)



2-2.セグメント別概況_賃貸不動産（売上高・営業利益）



売上高は横ばいも、大規模修繕実施等により営業利益は減益

売上高
(百万円)

営業利益
(百万円)

売上高

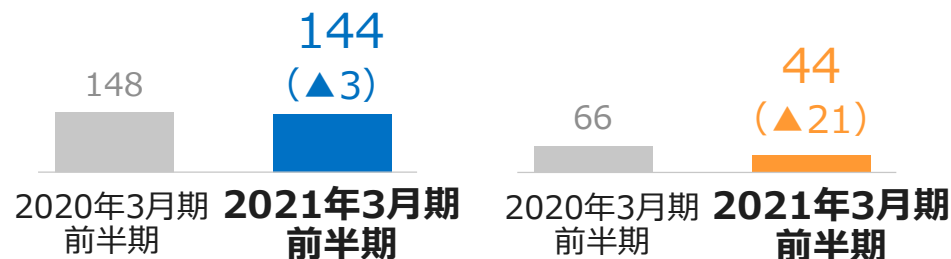
144百万円

(前年同期比 97.5%)

営業利益

44百万円

(前年同期比 67.5%)



2-2.セグメント別概況_サマリー



新型コロナウイルス感染症の影響を受け、
各セグメント売上高、営業利益ともに減収減益

(単位：百万円)

セグメント	科目	2020年3月期 前半期	2021年3月期 前半期	増減額	前年同期比
建材	売上高	25,580	23,923	▲1,656	93.5%
	営業利益	391	340	▲50	87.1%
産業資材	売上高	11,996	9,774	▲2,222	81.5%
	営業利益	119	3	▲116	3.1%
電子・デバイス	売上高	6,455	5,823	▲631	90.2%
	営業利益	162	151	▲10	93.6%
賃貸不動産	売上高	148	144	▲3	97.5%
	営業利益	66	44	▲21	67.5%
合計	売上高	44,180	39,666	▲4,514	89.8%
	営業利益	739	540	▲198	73.1%

3. 2021年3月期 通期業績見通し 及び 配当予想

3-1. 2021年3月期 通期業績見通し



新型コロナウイルス感染症の影響により
売上高、営業利益ともに減収減益となる見通し

売上高
(百万円)

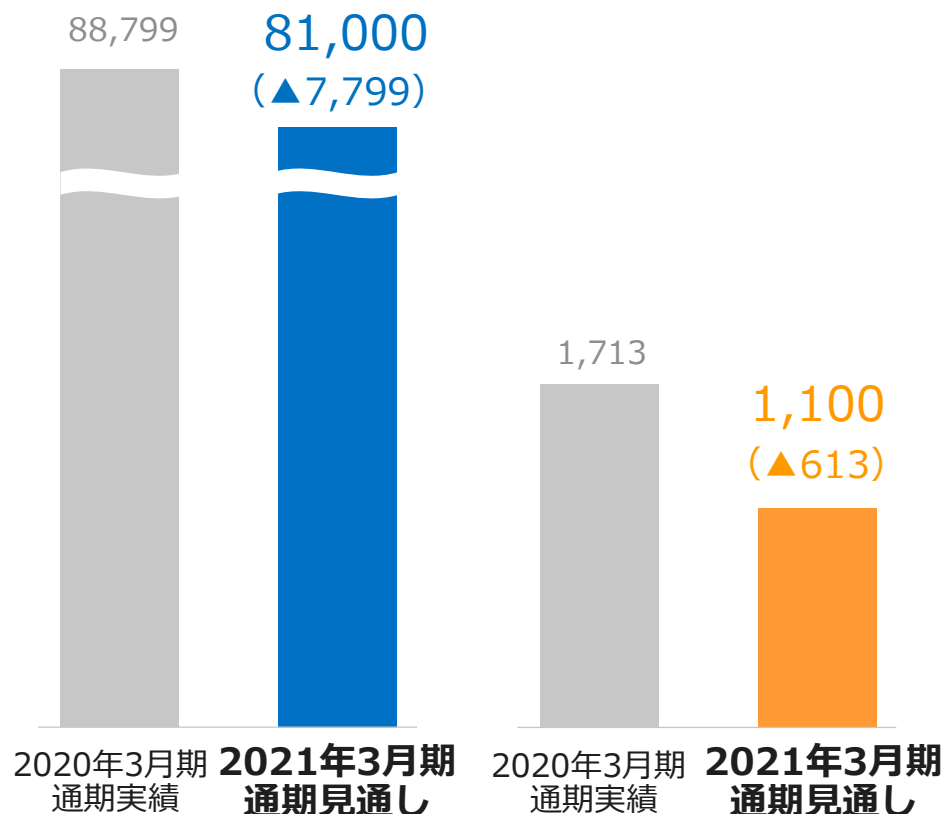
営業利益
(百万円)

売上高

81,000百万円
(前年比 91.2%)

営業利益

1,100百万円
(前年比 64.2%)



3-1. 2021年3月期 通期業績見通し



新型コロナウイルス感染症の影響により
経常利益、親会社に帰属する当期純利益ともに減益となる見通し

経常利益
(百万円)

当期純利益
(百万円)

経常利益

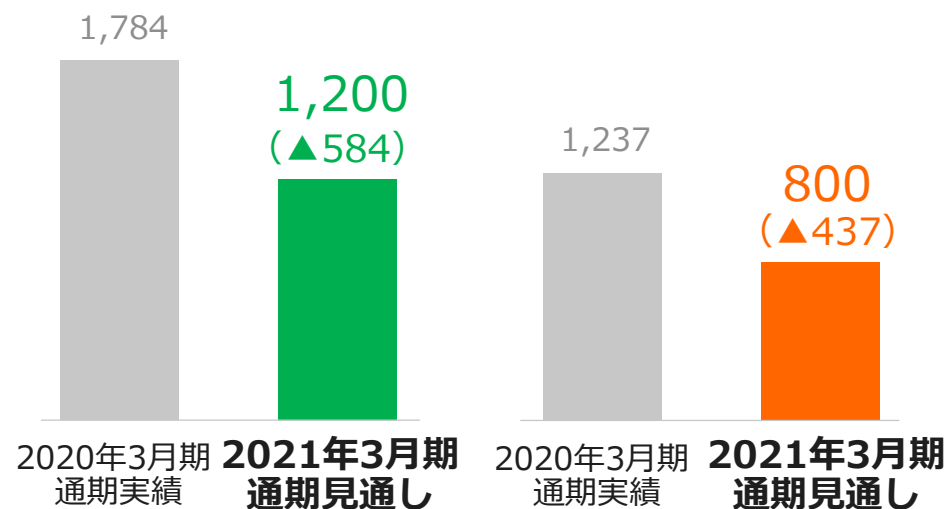
1,200百万円

(前年比 67.3%)

親会社株主に帰属する
当期純利益

800百万円

(前年比 64.7%)



3-1. 2021年3月期 通期業績見通し



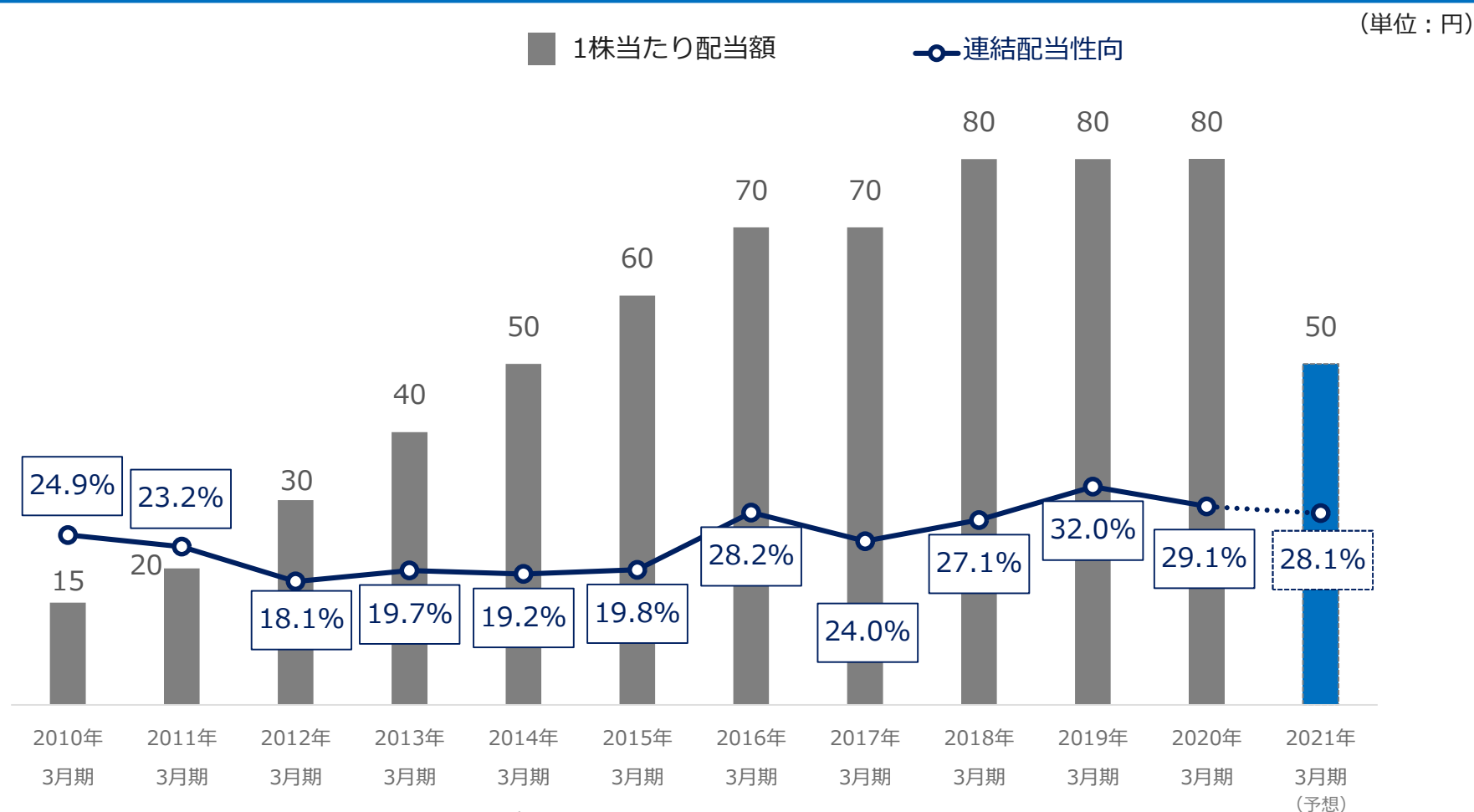
(単位：百万円)

科目	セグメント	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期見通し	増減額	前期比
売上高	建材	51,133	49,325	▲1,808	96.5%
	産業資材	23,518	20,620	▲2,898	87.7%
	電子・デバイス	13,854	10,774	▲3,080	77.8%
	賃貸不動産	292	281	▲11	96.1%
	合計	88,799	81,000	▲7,799	91.2%
営業利益	建材	762	670	▲92	87.8%
	産業資材	255	▲135	▲390	—%
	電子・デバイス	556	440	▲116	79.1%
	賃貸不動産	138	125	▲13	90.0%
	合計	1,713	1,100	▲613	64.2%
経常利益	—	1,784	1,200	▲584	67.3%
親会社株主に 帰属する当期純利益	—	1,237	800	▲437	64.7%

3-2. 2021年3月期 配当予想



業績見通しと配当政策を踏まえ、1株あたり年間50円を予定



※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施
2016年度以前の1株当たり配当額は、株式併合後の金額で表示

4. 中期経営計画について

4-1. 中期経営計画について_テーマ

中期経営計画 サステナXクロス

サステナ2020

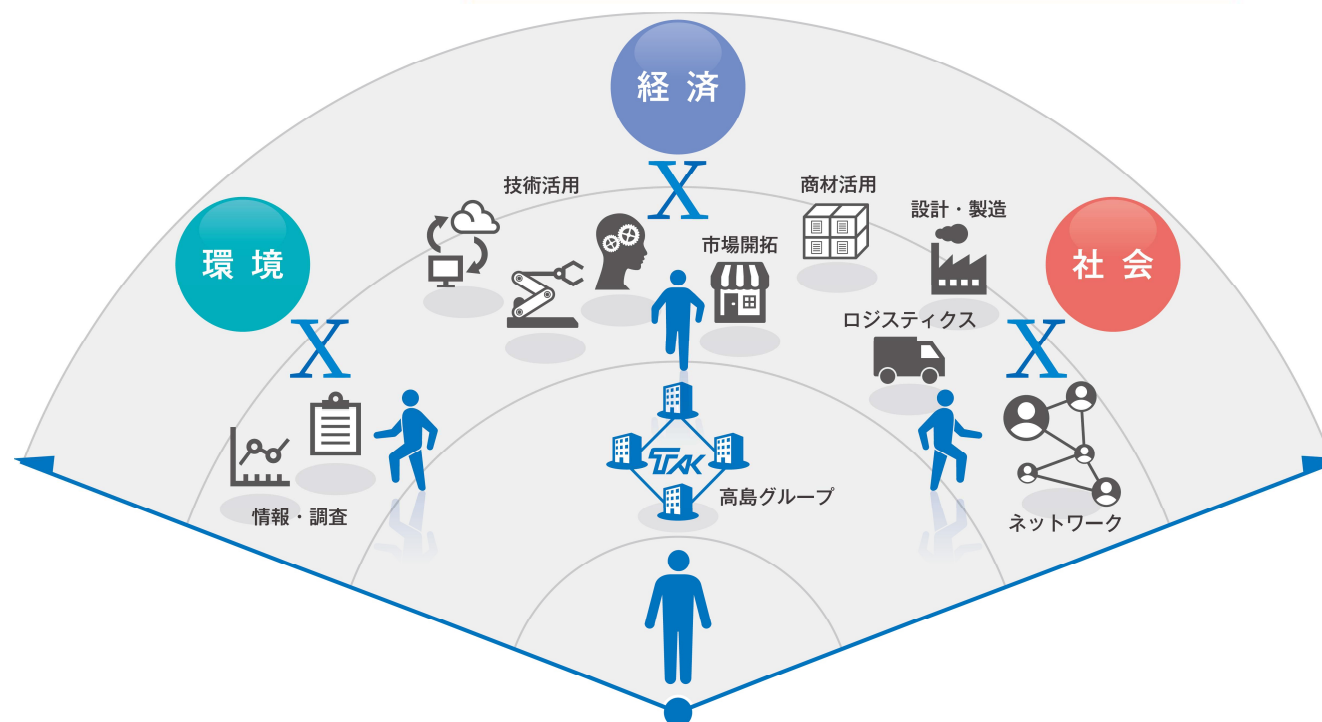
(2016-2019)

持続的成長を継続するための
事業構造・ポートフォリオ転換

サステナXクロス

(2020-2022)

「サステナ2020」の基本戦略を継続しつつ、機能
形成を深化し、持続的成長を継続するための事業
構造・ポートフォリオ転換を図る



ダントツ戦略

**コーポレート・
ガバナンス強化**

生産性向上

4-3. 中期経営計画について_重点戦略別取組方針



取組方針

ダントツ戦略



・注力領域に対し、グループ機能を掛け合わせることで提供価値を拡大

生産性向上



・基幹システム刷新と連動したビジネスプロセス改善によるコスト競争力の獲得

・人材活性化に向けた人事制度大幅改定

コーポレート・
ガバナンス強化



・コーポレートガバナンス・コードの諸原則を踏まえた
攻めのガバナンス体制の進化と社内浸透

- ◆親会社取締役会、経営会議の実効性向上
- ◆実効性評価対象を子会社取締役会まで拡張

4-4.中期経営計画について_ダントツ戦略注力領域

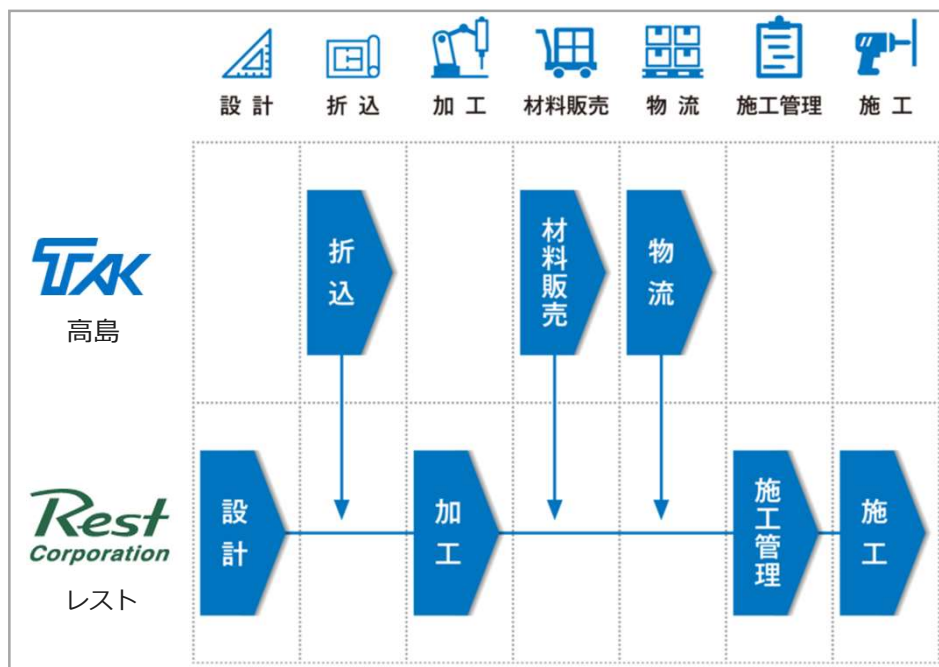


「省エネ化」「軽量化」「省力化」を注力領域とし、それぞれの領域で当社ならではの「ソリューション」を提供致します。

4-5.中期経営計画について_グループ協業事例①



「非住宅分野のトイレ環境リニューアル工事（高島×レスト）」

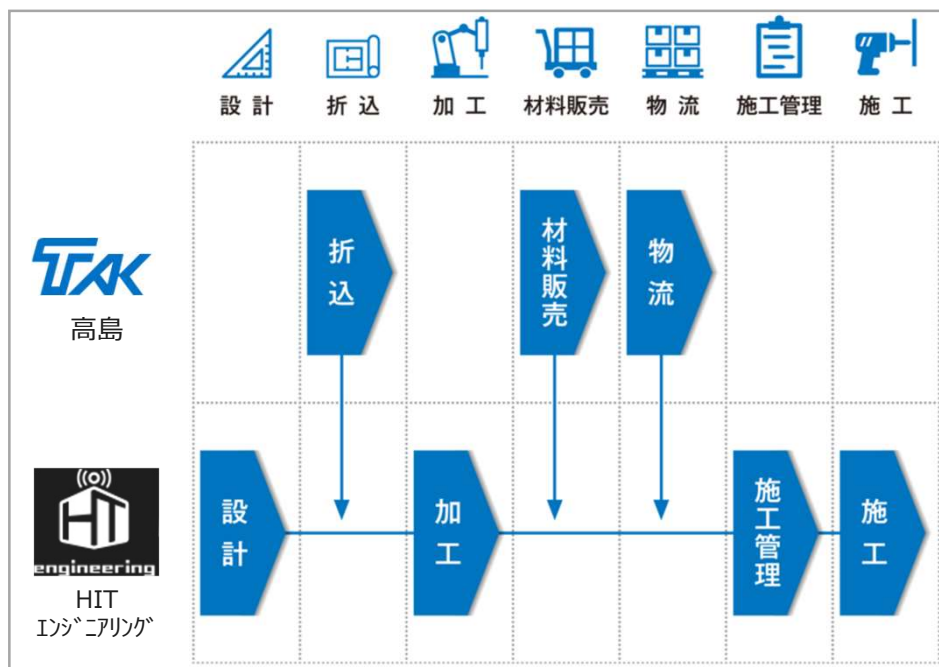


- ・ 狭い空間に多職種、多部材が入り混じるトイレ空間を一括で請け負い、企画・図面作成から施工までを高島グループで複合完結
- ・ トイレブース・洗面化粧台を始め、壁・床等の建材及び衛生・空調設備まで用途・目的に応じたトータルコーディネートが可能

4-6.中期経営計画について_グループ協業事例②



「スマートハウスに関わる電気・設備・通信のワンストップ工事（高島×HITエンジニアリング）」



- ・ 省エネ化、IT化が進む戸建て住宅分野において、電気・設備・通信の工事を一元管理し、施工後のメンテナンスまで担保
- ・ より快適で安全な住環境の心臓部分を担うとともに、今後のEV車時代における「家と車の良い関係」のあり方をご提案

中期経営計画 サステナXクロスーテーマと計数目標ー

テーマ

持続的成長を継続するための
事業構造・ポートフォリオ転換

最終年度
計数目標

純利益13億円

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や、入手可能な情報に基づくものであり、経済情勢や市場動向の変化等、様々な理由により変化する可能性があります。従いまして、本資料に記載された目標・予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。